

伊豆市の市章・花・鳥

今年2月から募集した 「伊豆市の市章」 が決まりました！

6月はじめに市章の候補が14点に絞られ、市役所と各支所で市民による投票および、伊豆市のホームページでインターネット投票を約1週間行いました。その結果を参考にして、市章選定委員による選考作業を行い決定しました。市章の応募総数は、1,818点でした。皆さんの多数のご応募、誠にありがとうございました。

6月26日(土)の伊豆市合併記念式典では、採用された方の授賞式を行いました。これからは市のシンボルとして使用していきます。

市章



採用
伊豆市
んだのは
定ませ
青の中
の海を
豆市に

6日(金) 姜建華(二胡)

楊宝元(中国琵琶)

蘇宇虹(古箏)

7日(土) 竹内正実・濱口晶生

(テルミン)

ただすけ(キーボード)

8日(日) 赤木りえ(フルート)

伊藤芳輝

(スパニッシュギター)

吉見征樹(タブラ)

【料金】各二千七〇〇円

(当日券は三千円)

【販売所】伊豆市観光協会(修善寺

・天城・中伊豆・土肥 各観光案

内)・アキツ(修善寺駅前)・ミニ

トップ修善寺横瀬店・ギャラリー

しゅぜんじ回廊・一石庵(温泉場)

アマチュアウィーク

地域のアマチュアによる公演
週間(無料)。

【日 時】8月10日(火)～8月16日(月)

午後7時30分～8時30分(予定)

【出演者】

○アモール・イ・エスペランサ

○竹の会

○里比居都

○朗々会 そうざら

○ハンダグリーベア

○ミモリー

○チンプンカンプン劇団

○伊豆音楽一座

○ババン・サリ



鳥・木が決まりました

花



ワサビの花

伊豆市が生産高日本一を誇るワサビの花は、一般的に3月から4月に咲くといわれています。花は食用として出荷されますが、白く可憐な姿は見た目もきれいで、私たちを楽しませてくれます。



木



桐(クヌギ)

伊豆市の特産のひとつであるしいたけ。クヌギはしいたけ栽培のほたぎとして、親しまれています。高さは約10メートルで、空に向かって伸び、伊豆市にふさわしく大自然の香りが漂っています。



鳥



雉(キジ)

市内に生息する代表的な野鳥。自然豊かな所に姿をみせ、きれいな羽が特徴的です。修善寺自然公園や西天城高原でも多く見られます。



考案者のことば

市の市章のイメージとして、まず頭に浮かぶのは、素晴らしい大自然でした。特に色は限定していませんでしたが、シンボルカラーとして、緑と白を提案しました。緑は山を、青は土肥をそれぞれ象徴し、山と海の融合色は新生伊豆を象徴すると思います。
いづみ
大川伊都美さん(田沢)

ノスタルジックロマン/修善寺

桂座

2004
8/5 THU ~ 8 SUN



修善寺の夏の風物詩、「修善寺芸能処 桂座」が今年もギャラリー・修善寺回廊で開催されます。5年目の今年はおなじみの姜建華さん(二胡)、赤木りえさん(フルート)に加えて、沖縄音楽のよなは徹さんや津軽三味線の新田昌弘さん、不思議な楽器「アールミン」の竹内正美さんなど、日本の北から南まで、中国、ロシアと世界中の新しい熱い風が修善寺温泉の夏を盛り上げます。後半のアマチュアウイークも地元元アーティストの発表の場として、様々なジャンルが楽しめます。

プロ・ウイーク

各分野で活躍する一流の出演者が、修善寺の空気を肌で感じ得たものを表現する公演週間(有料)。

【日時】 8月5日(木)~8月8日(日)

午後7時30分~8時30分(予定)

【出演者】

5日(木) 新田昌弘(津軽三味線)

よなは徹(沖縄三線)

和田啓(打楽器)

